授業科目	日常生活活動			時間数	60	
学科	理学療法士養成学科	学 年	2 年	単 位 数	2	
担当講師	平島陽子	取得資格	理学療法士			
		実務経験	有・無	経験年数	17 年	
授業内容	ADLの概念、評価とその指導にかかわる知識・技術、生活環境をとりまく諸制度を理解し、治療場面におけるADLの重要性について学ぶ。ADLを支援する機器、活用法 を学ぶ。各疾患の機能形態障害、病態とADLについて理解する。					
到達目標	1. ADL の概念を理解する。 2. ADL 評価とその指導に関わる知識・技術を習得する。 3. ADL を支援する福祉機器について理解する。					

授業計画

No	授業內容					
1	ADLの概念について					
2	ADLと障害、ADLとQOLについて					
3	ADLの運動学的分析					
4	ADL評価について					
5	ADLを支援する機器、自助具・日常生活用具、歩行補助具、車椅子					
6	ケーススタディ					
7	ケーススタディ					
8	各論:片麻痺					
9	各論:脊髄損傷					
10	各論: 脳性麻痺					
11	各論:関節リウマチ					
12	各論:人工股関節術後・下肢切断					
13	各論: 呼吸器疾患・循環器疾患・神経筋疾患・難病					
14	ロービジョン、在宅生活に向けた ADL 指導					
15	まとめ					

テキスト参考書等	標準理学療法学 日常生活活動学·生活環境学:医学書院 (編集 鶴見隆正 隆島研吾)
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	定期試験(前期、後期)